

令和元年度 基本問題検討委員会 活動報告

全特長基本問題検討委員会
委員長 井 上 昌 士

1. テーマ

特別支援学校における学校経営上の問題点の把握と課題解決への方策等の検討
～新学習指導要領の理念を踏まえて～

2. 趣旨

平成29年4月に特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、平成31年4月には同高等部学習指導要領が公示され、新学習指導要領への対応が急務となっている。多様な教育課題に的確に対応し、特別支援学校の教育実践の充実を図るため、特別支援学校における学校経営上の課題点の把握と課題解決への方策等の検討を行うとともに、その成果を会員に報告し、全国の特別支援学校の校長で共有する。

3. 方法

全特長が実施する公益財団法人みずほ教育福祉財団からの特別支援教育研究助成による研究活動に協力するとともに、その成果等を資料・参考としながら特別支援学校の教育実践の充実を図るため、課題解決への方策等の検討を行う。

〈内 容〉

- ① みずほ財団研究助成で実施するアンケート作成に関する協議
- ② みずほ財団研究助成で実施したアンケートの結果を資料・参考とした課題の考察
- ③ 特別支援学校の教育実践の充実を図るため課題解決策の方策等の検討
 - みずほ財団研究助成の研究活動の一環で8月31日（土）に実施する「特別支援学校経営研究協議会」（会場：東洋大学）への協力も行う。

4. 活動報告

（1）第1回基本問題検討委員会 令和元年5月10日（金）

- 令和元年度活動計画(案)の提案
- みずほ研究助成のアンケート内容検討への協力

（2）第2回基本問題検討委員会 令和元年9月6日（金）

- みずほ研究助成のアンケート中間結果の報告①
 - ✓ 学校経営の柱について
 - ✓ 教育課題について
 - ✓ 教員の専門性について
 - ✓ 教員の専門性を向上させるための学校の取組及び都道府県や国への提言について

- 質疑等
 - ✓ 「主体的、対話的で深い学びの実現」がなぜ学校経営の柱として高い結果となったのか
 - ✓ 学習評価の改善の捉え方について
 - ✓ 障害種ごとによる情報交換

(3) 第3回基本問題検討委員会 令和元年10月4日(金)

- みずほ研究助成のアンケート結果の概要
- 8月31日の特別支援学校経営研究協議会（東洋大学）についての報告及びまとめ
 - ✓ 講演内容と4本の実践報告と意見交換の内容について
- 令和版全特長ビジョン（たたき台）についての説明
- みずほ研究助成のアンケート結果を踏まえての令和版全特長ビジョン（たたき台）に取り込む内容等についての協議・検討
- 障害種別の要望・意見

(4) 第4回基本問題検討委員会 令和2年1月10日(金)

- 全特長ビジョン2020（案）について意見交換
～「みずほ研究助成のアンケート調査結果」の分析等をふまえて～
- ① 提言項目等についての意見交換
- ② 全特長ビジョン令和版策定までの手続き、スケジュールの確認
R元第3回理事・評議員合同会議で検討
→R2第1回理事・評議員合同会議で最終案を提示・検討
→6月全国大会で承認
- 次年度の基本問題検討委員会の議題について

5. 令和元年度の成果と課題

(1) 成果

- みずほ研究助成のアンケート結果から、学校経営の柱と考えるもの、昨今の教育課題としての対応、特別支援学校教員の専門性等についての傾向等について把握することができ、各校長が昨今の教育課題に的確に対応し、新しい学習指導要領の趣旨を実現するための学校経営に必要なことについて共有することができた。
- 全特長ビジョン令和版のビジョン、使命、項目の作成段階において、みずほ研究助成のアンケート結果を踏まえて意見交換を行うことができた。
- 関東近県だけではなく全国の校長と、みずほ研究助成のアンケートを通して情報共有を行うことができた。

(2) 課題

- 国や教育委員会に建設的に提言ができる校長会を支えていく基本問題検討委員会としての役割を踏まえた戦略的なテーマ設定及び活動計画の策定。
- 基本問題検討委員会の成果を全国規模で継続的に発信を行うための方法の工夫。